第４回宗像市図書館を使った「調べる」学習賞コンクール入賞作品　資料12

応募数520		賞	学校名	学年	名前	人数	タ　イ　ト　ル
小学生の部	414	市長賞	河東西小	2	池田　愛恵	1	オクラのひみつ
		教育委員長賞	赤間小	5	白川　多聞天	1	クワガタを越冬させたい ～クワガタムシ成虫の越冬飼育への挑戦～
		教育長賞	自由ヶ丘小	3	岡部　秋陽	1	古代生物しらべ
		優秀賞	河東小	4	稲葉　帆乃花	1	千仏鍾乳洞のなぞ
			河東西小	1	白石　卓大	1	マンボウくんこんにちは
		佳作	赤間小	5	荒牧　美由	1	わたしの世界食べ歩きin宗像
			日の里東小	6	吉田　圭織	1	フシギ!?植物なのに虫を食べる!! 食虫植物の研究
			南郷小	6	石津　郁也	1	原町の自然と街なみガイドブック
			日の里東小	4	桑原　美織	1	フシギのかたまり球根
			自由ヶ丘南小	5	近藤　真生	1	未来のために食べるナ!!危ない添加物
中学生の部	106	市長賞	城山中	2	大力　栞南	1	江戸の町人の生活白書
		教育委員長賞	日の里中	1	林　澄人	1	疲れが取れる休み方
		教育長賞	日の里中	1	生清　明子	1	夏の紅葉 ～紅葉のしくみを使って夏に紅葉をつくってみよう!!～
		優秀賞	中央中	3	木屋　佳小里	1	平和を考える ーともに生きるためにー
		佳作	中央中	2	近藤　幸仁	1	日本と台風
			中央中	1	高木　美優	1	宗像の古墳や遺跡

第４回宗像市図書館を使った「調べる」学習賞コンクール審査講評

宗像市立吉武小学校　校長　村上　和之

本年度のコンクールに際しまして、小学生の部 414 点、中学生の部 106 点、全部で 520 点の応募をいただきました。毎年多くの小中学生の皆さんから、中には２度３度と参加してくださっており感謝しています。

図書課の職員、各学校の司書の先生など多くの審査員によりすべての作品を見せていただき、特に優れた作品を選び抜きました。その審査の中で気が付いたことを申し上げたいと思います。

まず第１は、何を調べるか、その対象がはっきりしているものが評価が高かったということです。「調べる」ということをすると、いろいろな「情報」が見つかります。分かったことを並べていくだけでは、やたらと内容が増えていくばかりで、いったい何を調べているのかぼやけてきます。テーマに迫るために必要な資料、いらない資料を分けていくことが大切です。入賞された作品は、どれも内容が絞り込まれていて、調べたいことがはっきりしていました。特に、目次を見ると、書いた人の考えが一貫しているのが分かります。

第２は、調べたい内容をそのまま写すのではなく、自分の考えや思いに結びつけて表現しているところができていたと思います。自分の主張や考えの基にしたり、自分の考えを強めたりすることにうまく利用していました。

第３は、調べることの楽しさや新しい発見をしたことが伝わる作品が多かったということです。図書館の本で調べるだけでなく、資料館や博物館・水族館などに出かけたり、実際に実験したり、作ったり、育てたりして、自分の目で確かめ、驚き、感動している様子が伝わってきました。

第４は、文章の工夫だけでなく、図や写真や表・グラフなどを使って、より視覚に訴えて、わかりやすさを追求した作品が多かったと思います。デジタルカメラやパソコンを上手に使う人が増えてきました。

このように、年々作品の質が向上してきていますが、もっと良い作品にするために気をつけてほしいことを申し上げます。

第１は、文の最後の表現を「です・ます」と「だ・である」をまぜないようにしてほしい事です。引用の場合はそのままの文末で載せる必要がありますが、応募された作品はどれも参考文献とか参考資料としているので、読みやすいように文末表現をそろえていただいて結構です。

第２は、使う紙の質や綴じ方、文字のバランス、学年に応じた漢字の使用に気をつけてほしいことです。もちろん内容が一番ですが、読み手が作品を手にしたときの感覚や身の丈にあった表現というものも大切です。

今回、審査員という仕事をさせていただき感じたことは、応募された児童生徒の皆さんが、調べていくうちに、そのおもしろさにのめり込んでいく姿、そしてそれを支えあるいは一緒にのめり込んでいくお家の方、指導される先生の姿が目に浮かび、ほほえましく、うらやましく思いました。知るは楽しみなり、これからもいろいろなことに興味を持って調べることを続けていただけたらと願っています。

以上、感想を持って講評に代えさせていただきます。すばらしい作品をありがとうございました。